



衣川製鎖工業・衣川良介社長



鉄のふしぎ? 博物館

■17

1937年(昭和12年)に河合鋼鐵が、東京と大阪で開催したステンレス家庭用品の展示会には、一般の人々にステンレス製品を普及しようとして、欧米から洋食器、鍋、フライパン、眼鏡の枠などの家庭用品を取り寄せました。

展示会の広告を読むと、当時のステンレスに対する認識がほほえましい

配置は一部変更
しています。

ステンレスとは何か

く、感じられます。特に文末の一文「恐らく近い内にメッキと云う言葉は世の中から無くなる事です」。皆さまはどうお感じになりましたか。また、ほとんどすべての漢字に、旧かなづかいのふりがなが打たれていることも時代の差を感じます。

東京で開催されたパンフレット
「河合鋼鐵 11 年のあゆみ (昭和58年8月) P.56 による」

ステンレス とは何か

メッキではない芯から底から錆びぬ鐵
将来メッキと云ふ言葉は無くなる

皆様の御家庭で日常お使いになつてをられる物で鍋、釜、包丁、火箸、バケツ、柄杓、洗面器、鉄、針、皿、ナイフ、フォーク、スプーンなど色々な金物は皆鐵で作られてゐます。鐵はすぐ錆びますので常に手をかけて磨くかペンキで塗りつぶすか或いはメッキをするかして錆を防ぎます。

若し錆びない鐵があつたら何と便利で衛生的でまた美しくはありませんか。所が時代は進んで遂に此希望が叶ふことに成りました。何も塗らずメッキもせず地金のままで濡らしても錆びぬ鐵が出来るように成りました。之を「錆びない鐵」又は、「ステンレス」と申します。之は高級の合金でありまして鐵にクローム一三乃至一五%或いはクローム一八乃至二十%に更にニッケル八乃至十%を加えたものです。外觀は美しい白金色です。から芯から底から錆びぬ性質を持つてをりメッキとは全く違ふものであります。

御覧下さいステンレスのお台所道具。食器、文具、万年筆、時計等が現に澤山出来てをります。恐らく近い内にメッキと云う言葉は世の中から無くなる事です。



大阪市東區横堀一丁目十一番地
高島屋飯田株式会社大阪支店